

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピー西川口教室			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 25日		～	2025年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2025年 7月 25日		～	2025年 8月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援に対する満足度	支援後のフィードバックで聞いた内容を職員で共有し、次の支援に取り入れています。またフィードバックでは課題の目的やモニターでは見えにくいできていたこと、次に取り組んでいくと良いと思われること等をお伝えさせていただいています。	引き続き、フィードバックで聞いたことを次に取り入れま す。また記録に残し、他の職員が支援に入っても取り入れら れるように情報の共有を徹底します。
2	個別支援計画に沿った支援プログラムの実施	支援のプログラムを考える前に、必ず個別支援計画を振り 返って確認しています。また、支援内容について、どのよう な内容がよいか、どのような教材がよいかを職員で話し合っ ています。	プログラム作成前に個別支援計画を確認することを忘れず に行います。また、新しい職員に対しても確認することを伝 え、全員が同じように取り組めるようにします。 個別支援計画内に目的や支援例等を記載し、どの職員が見て も分かる個別支援計画となるよう作成します。
3	支援環境の構造化及び清潔であること	清掃は毎日朝礼後に職員総出で実施をしており、清潔な状 態を維持するよう心がけています。支援室は刺激が強くなり すぎないように、最小限の視覚情報の環境にしています。し かし、支援を行う上で視覚的なヒントとなる情報や、プログ ラムを可視化するなどの構造化は適宜行っています。	各教室に空気清浄機を設置し、常時稼働させます。また、 サーキュレーター等を用いて、空気の循環もできるよう時間 を決め、業務ルーティンに組み込んでいきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域・保護者さまへの発信力	イベントやスケジュール確認の連絡が主になり、HPやプログ について、業務上の優先順位が低い状態にあります。	発信をすることで、助かる人がいるということを教室内で共 有し、業務時間の捻出を行います。そこで、何度か発信に対 しての業務を行うことで、より効率的な方法も見えてくると 考えています。
2	防災訓練等の実施と、実施後の共有について	防災訓練の実施は行っておりますが、全利用者さますべてに 行うことはできておりません。そこで、実施時には、その内 容を参加された方以外の皆様に、提示できる方法を検討する 必要があると考えております。	訓練後の情報共有をする方法を、必要に合わせて検討してい きます。教室内での掲示などを考えております。
3	放課後児童クラブや児童館など外部との交流について	外部との情報共有は行なっていますが、プライバシーの観点 からお子さまを交えての交流の機会を設けていません。	教室としての外部との繋がりが少しずつ増えてきたが、お子 さまや全職員の交流は少ないため、継続して交流の機会を設 けていきます。また、交流の場も様々な方法で行える様、検 討します。